

第5回社叢インストラクター資格認定試験問題

筆記試験Ⅰ【10:00～11:00】：下記のうち1題を選択し、指定の字数で記述（課題は事前に提示）配点＝100

1. 以下の写真は、下鴨神社(所在地：京都市左京区)の社叢を含む景観である(写真中、1はクスノキ、優占種はエノキ、ムクノキ、ケヤキ)。写真を参考に、この社叢が地域に果たしている役割(1)と社叢管理における課題(2)を述べたうえで、今後、どのような社叢として保全されることが望ましいのか(3)を1,500字程度で述べなさい。なお、次のキーワードをすべて使用すること。キーワードの順番は適当に変更してもよい。解答において(1)から(3)に関する記述が含まれるよう論述し、キーワードには下線を引くこと。

キーワード：河川、地下水位、生物多様性、外来種、地域、森林構造、クスノキ、落葉広葉樹、常緑広葉樹、更新、林床管理、暖温帯域、植栽、攪乱、世界遺産登録、閑静な住宅地

2. この図(事前配布)は、「東日本大震災津波詳細地図上巻 原口強・岩沼暉著 古今書院発行」からとったものである。社叢の保存・育成に関わる者として、それぞれの図から判読できる事項を若林区・女川町それぞれについて1,000字程度で述べなさい。



筆記試験Ⅱ【11:10～12:10】 配点=100

問題1 ①から⑩のカッコ内に正しい語を書きなさい（漢字でなくてもよい）。配点＝20

神社といえば①（ ）があり、②（ ）があり、場合によっては③（ ）などがあるというような神祭に関係する建物を想いおこす。

しかし、常設の建造物ができるのは後の代のことであって、聖なるカミは聖なる樹木④（ ）や、聖なる岩石⑤（ ）

、あるいは聖なる山⑥（ ）などに鎮まった。④)や神体木だけが神の⑦()ではない。聖なる⑤)や聖なる岩石などの聖域を囲む⑧()

もカミの降臨する聖所であった。日本の代表的な古社である⑨()は①)のない神社として有名だが、秀麗な円錐形の⑩()

そのものが⑥)で、そこには⑤)群が重なり合う聖地がある。

問題2 下記の図を見てどんな森林かイメージして述べなさい。配点＝20

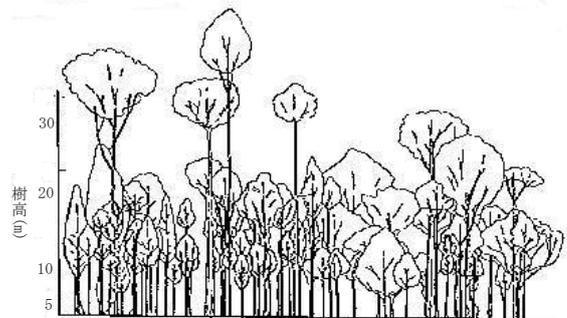
問題3 西日本の平地に見られる良好な社叢を構成する樹種名を10種記しなさい。配点＝20

問題4 次の記述には誤りがあります。正しい記述に訂正しなさい。正解文は複数ありますが、一つだけで結構です。また、そのように訂正した理由を書きなさい。配点＝10

「〇〇神社の裏山の潜在自然植生はスダジイ林だった」

問題5 照葉樹が優占する社叢内の参道に潤いをもたせ、かつ、社叢内に踏み入ることを防ぎたいという意図があって、参道に沿って両脇に植栽をしたいと思い、次の表に示した種類を考えた。植物名の後のカッコに植栽目的に適う種類には○、否なる種には×、どちらでもない種には△を記入し、否とした場合その簡単な理由、及び注意しなければならない点があればあげなさい。配点＝30

- ・ジャノヒゲ類 ・ヒガンバナ ・イヌツゲ (マメツゲを含む)
- ・レンゲツツジ ・マンリョウ ・ヤツデ



* 口頭試問では受験の動機やこれまでの経験を聞いたほか、約10種の樹木の同定を求められた。